



人権啓発標語

だいじょうぶ 一しょにいるよ なかまだよ

菊陽南小学校 3年 溝田 凜(現在4年生)



「学んだことを生かして頑張りたい」

ぼくは、「ミナマタ」の学習をしていくうちに考えたことがあります。工場はなぜすぐ排水を止めなかったのだろう。そして、あやまちを認めてあやまらなかつたのさう。それがわかりません。すでに死んでしまった人がいるのに、国が認めたとあやまるのではおそいと思うのです。でも、今こんなにぼくは言っているけど、もしかしたら、この時代に生まれていたら差別するかもしれません。「差別する人はひどい」と言っていた人もいたけど、今で

「ミナマタ学習を通し、考えたこと」

菊陽北小学校 5年 曾我 瑛光(現在6年生)

も、まちがった情報を信じていることもあるかもしれないからです。そう考えると、ぼくはたまに水俣病について、どう考えたらいかが分らないときがあります。でも差別はだめなことです。それは、差別は人を追いつめて、命までうばうようなどいことだからです。ぼくは低学年の時、なかま外れにされたことがあります。すごく自分が苦しくて、一人で遊んでいたことがありました。そのことと重なりました。今は差別をなくす時代だと思えます。そんな時代に生まれてよかったと思えます。

先生から

ミナマタの学習で感じたこと、語り部さんとの出会いから、自分の生活と重ね、自分のなりたいたい姿についてよく考えることができましたね。この出会いと今の思いを大切に、ともに学んだ友達とつながって、「差別のない時代」を一緒につくっていきましょう。

ミナマタの学習で、坂本のおさんに出会い、話を聞きました。しのおさんは出会ったとき、最初はどきどきとしました。話すのがつらそうだと感じました。でも話を聞いていくうちに変わりました。「水俣病のことをわかってほしい」という気持ちが伝わってきました。外国でも思いを伝える行動力がすごいと感じました。ぼくは、なかま外れにされたとき、自分の思いを伝えられなかったのですが、しのおさんの話を聞いて、おかしいことをおかしいと言えようになりたと思うようになりました。

～私たちの町の相談パートナー～「人権擁護委員」

6月1日は、人権擁護委員制度が誕生した日であり、毎年6月1日は「人権擁護委員の日」と定められています。町には、町長が推薦し法務大臣から委嘱を受けた、次の7人の人権擁護委員がいます。(2024(令和6)年6月1日現在)

Table with 8 columns: 氏名, 行政区, 氏名, 行政区, 氏名, 行政区, 氏名, 行政区. Lists names and districts of human rights protection committee members.

人権擁護委員は、次のような活動をしています。①人権に関する相談活動 日常の相談とは別に、特設相談所も開設します。今年は下記の予定です。

Table with 3 columns: 期日, 時間, 場所. Lists consultation dates, times, and locations.



インターネット人権相談窓口

相談は無料で秘密は固く守られます。また、みんなの人権110番☎0570(003)110や、インターネット人権相談窓口もご利用ください。☎ 熊本地方務局阿蘇大津支局 ☎(293)2272 ②被害者の救済活動 法務局と協力し、人権侵害の調査と救済を行います。③人権啓発活動 人権教室、人権の花運動などの活動を行います。

学校だより 73

菊陽北小学校

『1年生歓迎会』

菊陽北小学校の北側には、ふれあいの森公園が隣接しており、緑豊かな環境の中で、生活科や理科の学習での観察、体育の持久走などを行っています。4月には、入学してきた98人の新1年生の歓迎会を行い、ふれあいの森公園でお弁当を食べたり、遊んだりしました。



ふれあいの森公園での昼食風景

きくよう文芸 4月

菊陽句会報

機器をもて写らぬ老化鳥雲に 紫藤 祥子
地震コロナ未だ癒えず桜咲く 曾我 育代
神経痛吾を苛む木の芽どき 曾我トモ子
ふらここや世間は狭し詐欺電話 緒方チエ子
遠近に地震の不安や春風 吉田 幸子
指先に未だある冷の蓬つむ 木村 信子
春の日のてらてらと照り南天のもう赤き実のくすみ始めむ 有久 賢治
ハクビシンの被害大きくスイートコーンの今年の対策に電気柵を張る 梅田 國雄
道の辺の雨は静かに傘を打つ人参畑は緑増しゆく 佐藤せい子
花終えて新芽を伸ばす肥後椿古きは音なく舞い散りてゆく 中村トシエ
夕暮れの山並み遠く影となり桜木一本白く浮かびぬ 馬場 礼子
どこからか燧は焚き木を取ってきて罫炉裏にくべた旅人のため 松本 東亜

短歌会

春の日のてらてらと照り南天のもう赤き実のくすみ始めむ
ハクビシンの被害大きくスイートコーンの今年の対策に電気柵を張る
道の辺の雨は静かに傘を打つ人参畑は緑増しゆく
花終えて新芽を伸ばす肥後椿古きは音なく舞い散りてゆく
夕暮れの山並み遠く影となり桜木一本白く浮かびぬ
どこからか燧は焚き木を取ってきて罫炉裏にくべた旅人のため